事務事業評価シート

評価実施年度: 平成28年度

施策2 上位の施策名称 市町村との更なる連携による行政の推進

1.事務事業	の目的・	概要
--------	------	----

事務事業担当課長 次長 内田 詔巳 電話番号 22-6706

	· · - 30 - 70 - 00	1703				
	事務事業の名称	石見地域振興旅	画策への支援			
	(1)対象	石見地域市町・各種団体・	企業等			
的		対象市町・各種団体・企業 を行う。	(等が単独又は複数で計画し	た、石見地域の振興に資する事業について、	より大きな事	§業効果が生まれるように支援
Г	石見地域の活性化のため、市町等が行う地域振興策の実施に向けて、県庁内部の調整や石見地域施策推進費を交付することにより支援する。					

事 概 要

2 成果参考指標

2.10人をうける								
成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 支援事業実施件数	目標値		3.0	3.0	3.0	3.0	
	161示句 又汲尹未天旭什奺	取組目標値						件
'	式・ 一式・ 一式・ 一式・ 一式・ 一式・ 一式・ 一式・ 一	実績値	7.0					
	定義 「	達成率	_		_	_		%
	指標名	目標値						
2	指標位							
_	式・	実績値						
	定義		_	-	_	_	1	%

3 事業書

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	8,345	10,000
うち一般財源(千円)	8,345	10,000

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた ②改善策を実施した(実施予定、一部実施含 改善策の実施状況 む)

5.評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

石見地域全体の情報発信力が不足している。(「石見地域」の知名度が低い。)

6.成果があったこと (d)書されたこと)

石見地域施策推進費による支援

- 県内外のバイヤーや一般消費者に対して、各 市町の特産品の商談会、即売会マッチングする 場を設定 商談件数 57件
- ・ふるさと納税制度を活用した、石見地域9市 町が連携した取り組みへの支援

- しまね田舎ツーリズムの冬期プログラムの実 施を支援することによる、交流人口の拡大
- 地域の地場産業である瓦産業をテーマとした モニターツアーの企画

7.まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」 「石見地域」の知名度が低い。

②困っている状況が発生している「原因」 石見地域全体の情報発信力が不足している。

③原因を解消するための「課題」

- '者による定住の促進や、交流人口の拡大による、外部の目を通した情報発信が必要。
- 市町相互の連携による石見地域としての機運の高まりと、受入態勢の整備。

今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

各市町の地域資源を活用し、各市町が単独ではなく、石見地域全体として情報発信を行っていく必要がある。(情報発信の手段や情報発信先の選定など要検討。)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)

更新日: 2016/12/9 16:33